



【はじめに】

位置づけ

■主は岩

2Sm 22:2-4 彼は言った、「主はわが岩、わが城、わたしを救う者、わが神、わが岩。わたしは彼に寄り頼む。わが盾、わが救の角、わが高さやぐら、わが避け所、わが救主。あなたはわたしを暴虐から救われる。わたしは、ほめまつべき主に呼ばわって、わたしの敵から救われる。

Deu 32:3-4 わたしは主の名をのべよう、われわれの神に栄光を帰せよ。主は岩であって、そのみわざは全く、その道はみな正しい。主は真実なる神であって、偽りなく、義であって、正である。

■岩じゃない

2Ch 32:10 「アッシリアの王セナケリブはこう言います、

『あなたがたは何を頼んでエルサレムにこもっているのか。

2Ch 32:11 ヒゼキヤは「われわれの神、主がアッシリアの王の手から、われわれを救ってくださる」と言って、あなたがたをそそのかし、飢えと、かわきをもって、あなたがたを死なせようとしているのではないか。

2Ch 32:15 それゆえ、あなたがたはヒゼキヤに欺かれてはならない。そそのかされてはならない。また彼を信じてはならない。いずれの民、いずれの国の神もその民をわたしの手、または、わたしの先祖の手から救いだすことができなかつたのだから、ましてあなたがたの神が、どうしてわたしの手からあなたがたを救いだすことができようか』」。

【1-4】

■主に信頼せよ

2Ch 32:7-8 「心を強くし、勇みたちなさい。アッシリアの王をも、彼と共にいるすべての群衆をも恐れてはならない。おののいてはならない。われわれと共にいる者は彼らと共にいる者よりも大いなる者だからである。彼と共にいる者は肉の腕である。しかしわれわれと共にいる者はわれわれの神、主であって、われわれを助け、われわれに代って戦われる」。民はユダの王ヒゼキヤの言葉に安心した。

2Kg 18:5-7 ヒゼキヤはイスラエルの神、主に信頼した。そのために彼のあとにも彼の先にも、ユダのすべての王のうちに彼に及ぶ者はなかった。すなわち彼は固く主に従って離れることなく、主がモーセに命じられた命令を守った。主が彼と共にいられたので、すべて彼が出て戦うところで功をあらわした。彼はアッシリアの王にそむいて、彼に仕えなかった。

【5-8】

岩に身を避ける人に報いが来ます

【9-12】

■力と恵みは神のもの

(信頼に答えることができる岩である)

Exd 15:13 あなたは、あがなわれた民を恵みをもって導き、み力をもって、あなたの聖なるすまいに伴われた。

Exd 15:18 主は永遠に続べ治められる」。

2Ch 32:22 このように主は、ヒゼキヤとエルサレムの住民をアッシリアの王セナケリブの手およびすべての敵の手から救い出し、いたる所で彼らを守られた。

2Sm 22:1 ダビデは主がもろもろの敵の手とサウルの手から、自分を救い出された日に、この歌の言葉を主に向かって述べ、